

2020年12月期 第2四半期

決算説明資料

< 2020年 8月 >

1. 2020年12月期第2四半期 連結決算概要
2. セグメント別業績
3. 新型コロナウイルス感染拡大による業績影響
4. 今後のビジョンについて
5. データ集



- 各ページに記載の数値は、原則として表示単位未満を切捨て表示しています。また表及びグラフ横に記載しております差異ならびに前年同期比等は、表示の億単位を用いて計算しております。
- また、前年同期比で表示している数値は2019年12月期第2四半期までの累計期間である4月から9月までの数値を用いて表示しています。
- セグメント収益は、外部顧客からの営業収益を表示しております。
- 本資料に記載された将来情報などは資料作成時点での当社の認識、意見、判断又は予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。
- 説明会および本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社又は子会社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
- 業績予想については2020年8月12日付けで公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に基づき、修正後の業績を表示しております。

- 業績予想策定時の為替レートは、各国進出時から2019年12月末までの平均レートを採用しています。

1 シンガポールドル : 82.31円 1 韓国ウォン : 0.093円	1 インドネシアルピア : 0.0083円 1 USD : 107.42円	1 モンゴルトゥグルグ : 0.0426円
---	--	-----------------------

- 業績予想以外の円換算の為替レートは以下の6月末レートで換算し、表示を行っています。

1 シンガポールドル : 77.31円 1 韓国ウォン : 0.090円	1 インドネシアルピア : 0.0076円 1 USD : 107.74円	1 モンゴルトゥグルグ : 0.0382円
---	--	-----------------------

- 投資事業における、通常発生する損益以外の影響額は反映しておりません。

1. 2020年12月期 第2四半期 連結決算概要

Jトラスト株式会社

常務取締役 執行役員 財務部長

熱田 龍一

日本金融事業

第1四半期に引き続き、保証・債権回収共に堅調な実績

韓国及びモンゴル金融事業

健全・堅実に資産の内容を改善 安定した利益を確保

東南アジア金融事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で「慎重姿勢」にシフト

➤ 前期比増収増益 親会社の所有者に帰属する当期利益まで黒字転換

連結業績（前年同期比）

	2Q FY12/2019 (2019/4/1~2019/9/30)	2Q FY12/2020 (2020/1/1~2020/6/30)	前年同期との 差異	FY12/2020 業績予想 (修正後)
営業収益	363億円	368億円	5億円	785億円
営業利益	10億円	6億円	-4億円	17億円
税引前利益	4億円	5億円	1億円	14億円
親会社の所有者に 帰属する当期利益	-2億円	4億円	6億円	-15億円

➤ 連結営業収益は前年同期比増収

セグメント別営業収益（前年同期比）

	2Q FY12/2019 (2019/4/1~2019/9/30)	2Q FY12/2020 (2020/1/1~2020/6/30)	前年同期との 差異	FY12/2020 業績予想 (修正後)
日本金融事業	49億円	47億円	-2億円	83億円
韓国及び モンゴル金融事業	189億円	182億円	-7億円	388億円
東南アジア金融事業	58億円	79億円	21億円	216億円
投資事業	4億円	4億円	0億円	9億円
総合 エンターテインメント事業	32億円	29億円	-3億円	72億円
不動産事業	23億円	16億円	-7億円	-
その他事業	4億円	8億円	4億円	17億円
連結営業収益	363億円	368億円	5億円	785億円

➤ 連結営業利益は前年同期比で増益

セグメント別営業利益（前年同期比）

	2Q FY12/2019 (2019/4/1~2019/9/30)	2Q FY12/2020 (2020/1/1~2020/6/30)	前年同期との 差異	FY12/2020 業績予想 (修正後)
日本金融事業	22億円	22億円	-0億円	29億円
韓国及び モンゴル金融事業	42億円	37億円	-5億円	58億円
東南アジア金融事業	-9億円	-28億円	-19億円	-34億円
投資事業	-10億円	-8億円	2億円	-18億円
総合 エンターテインメント事業	-0億円	-4億円	-4億円	9億円
不動産事業	1億円	0億円	-1億円	-
その他事業	-1億円	-2億円	-1億円	-0億円
連結営業利益	10億円	6億円	-4億円	17億円

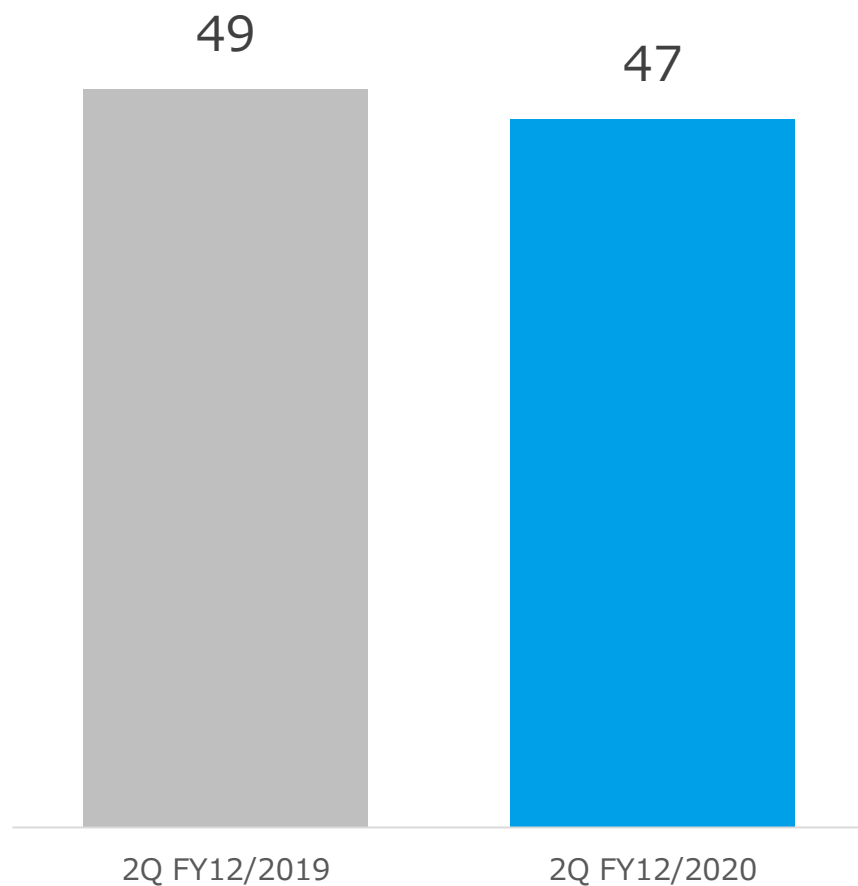
営業利益は連結調整後の数値となります。

2. セグメント別業績

2-1. 日本金融事業

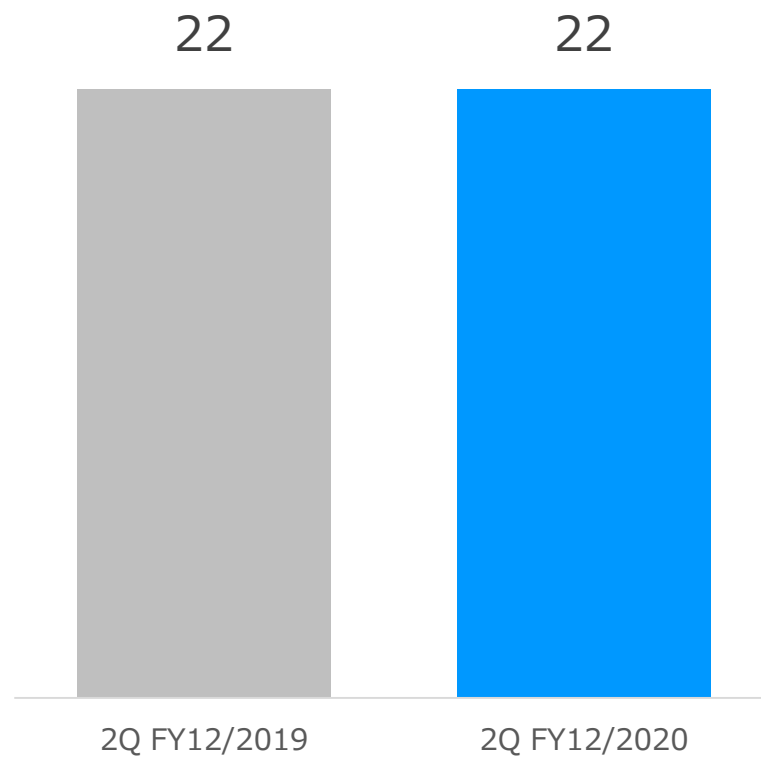
- 収益は前年同期を下回ったものの、
債権回収事業の好調な実績が寄与し前年並みの利益を確保

営業収益



営業利益

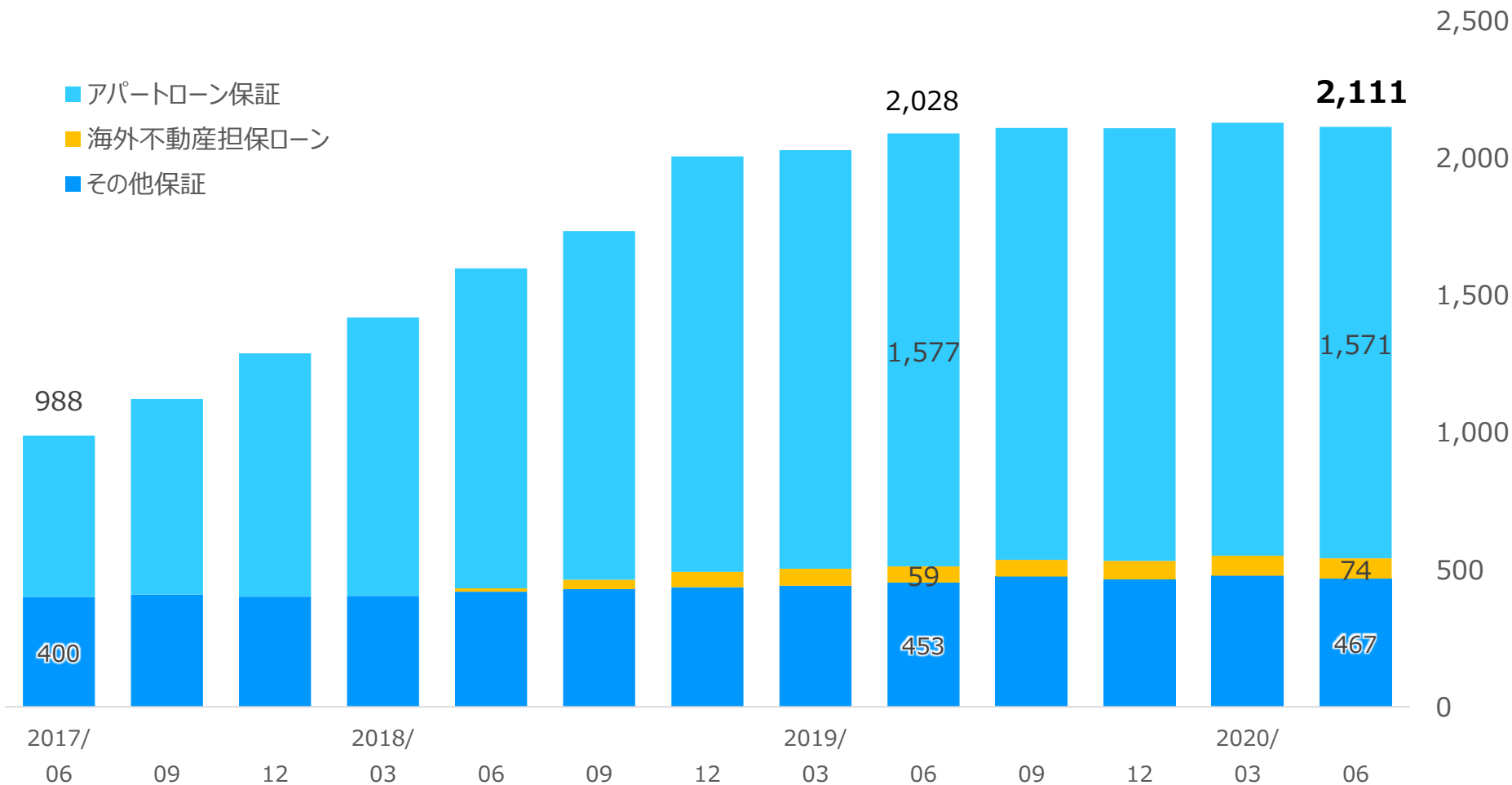
単位：億円



➤ 保証残高は前四半期に引き続き、過去最高水準を維持

保証残高の推移

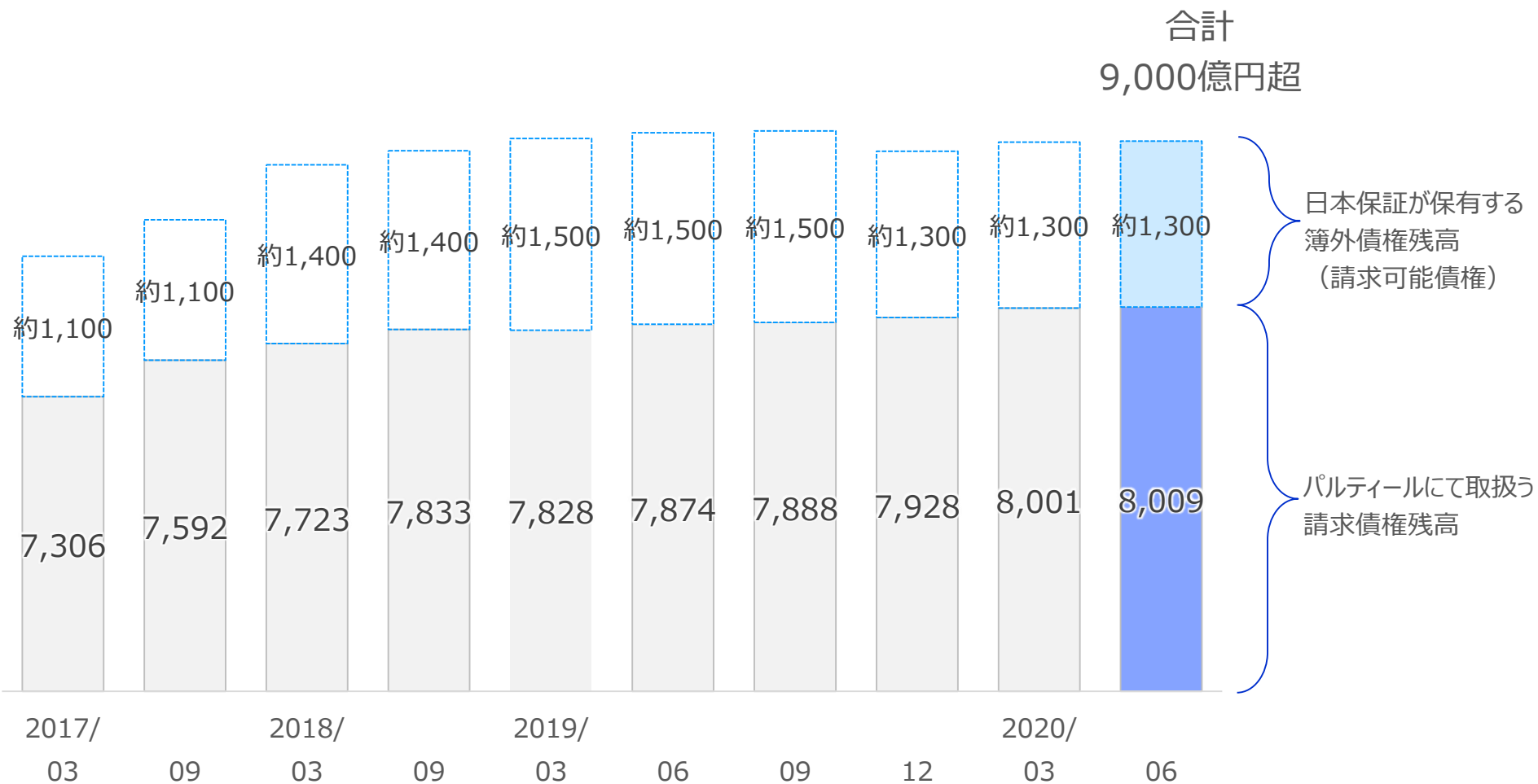
単位：億円



- 回収実績は順調に推移
- 今後もリテール債権の買取を推進していく予定

単位：億円

サービサー事業における請求債権残高



請求債権残高は買取債権および回収受託債権を含む
請求債権残高に一部オンバランス債権を含む

2. セグメント別業績

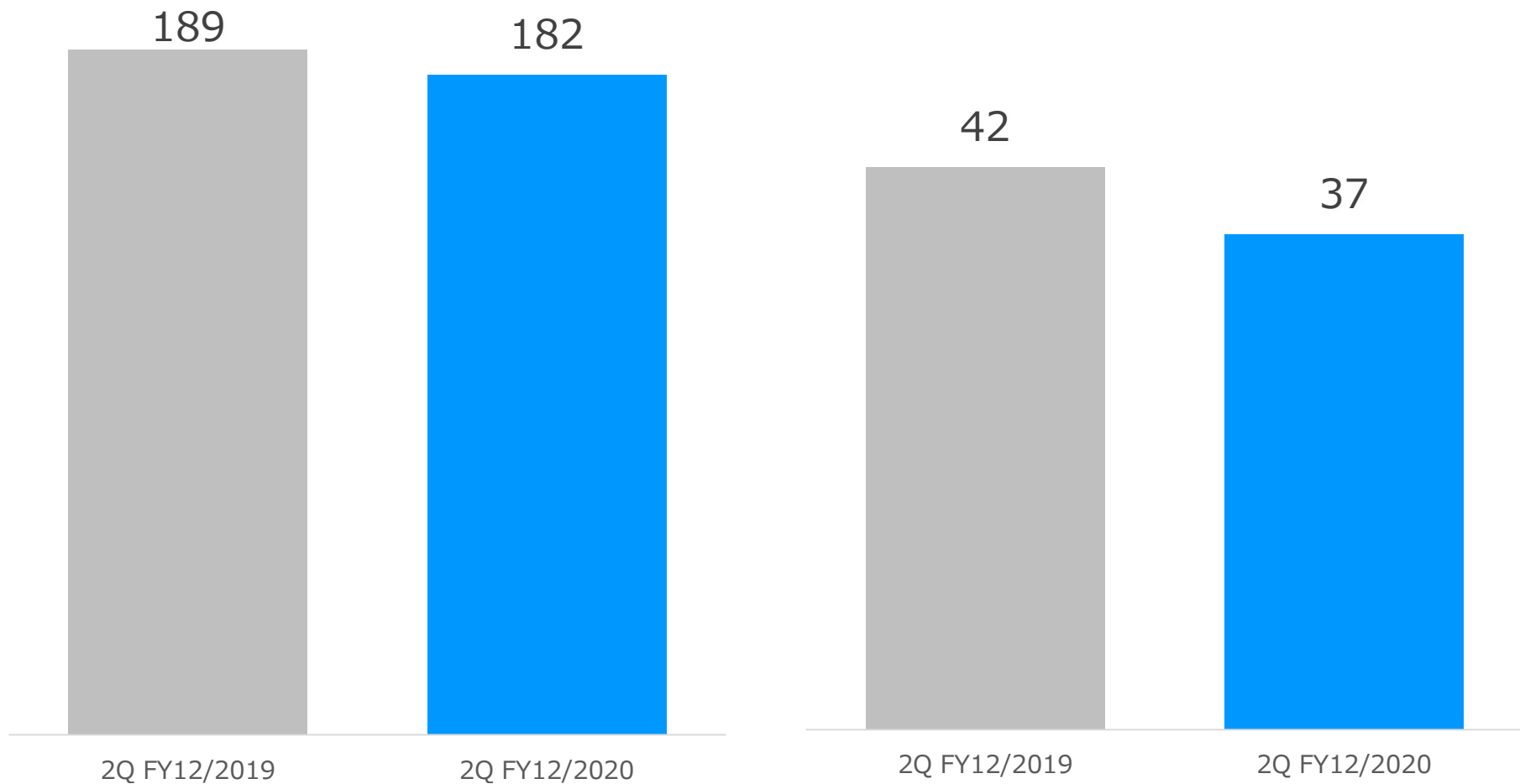
2－2. 韓国及びモンゴル金融事業

- 適切なポートフォリオマネジメントが奏功し、コロナ禍の影響を最小限に抑制。

営業収益

営業利益

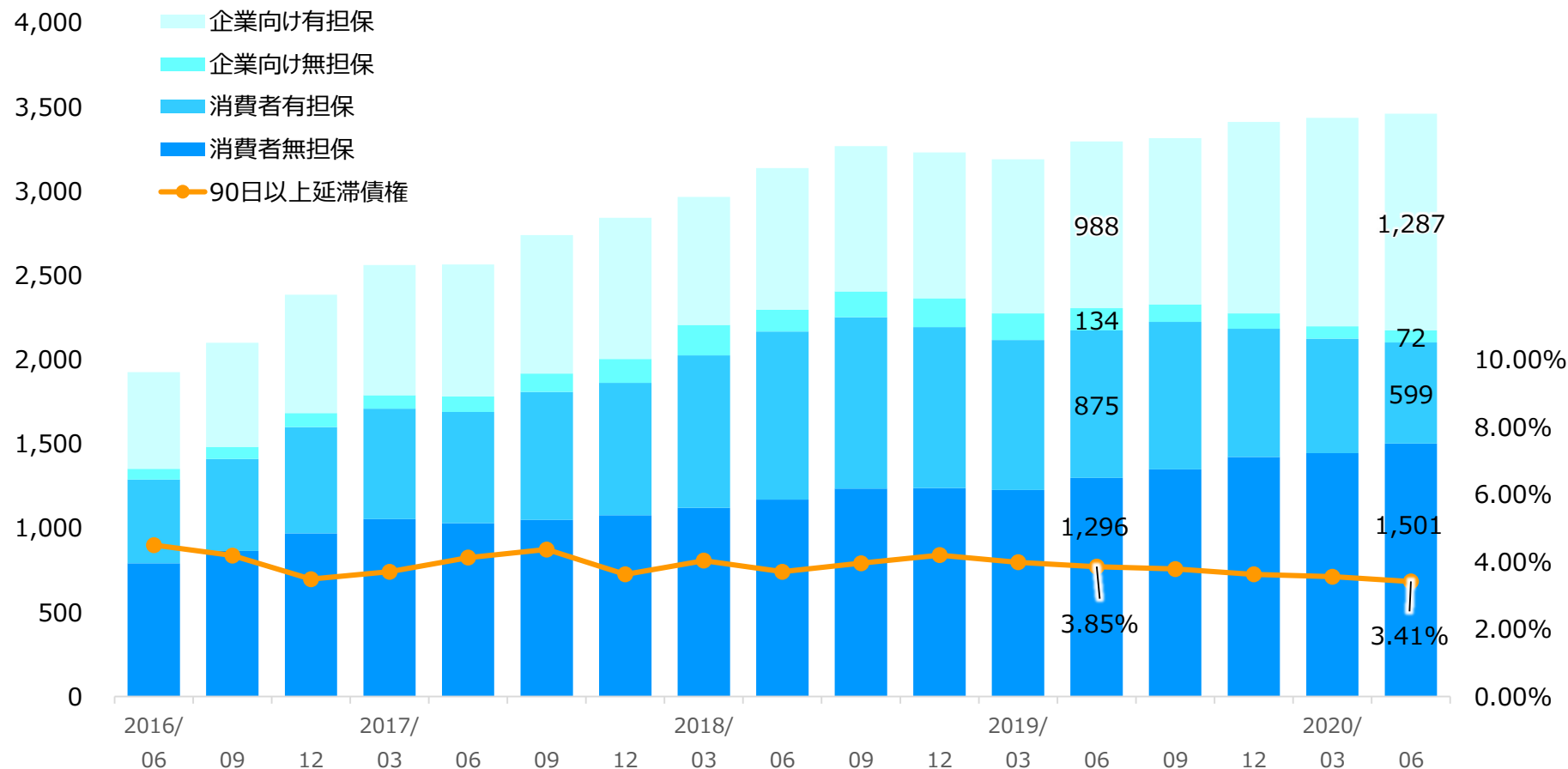
単位：億円



➤ 韓国金融事業の貸付資産における、90日以上延滞率は3月比で更に低下

3社合計の貸出資産ポートフォリオ（棒グラフ）と
90日以上延滞債権率の推移（折れ線グラフ）

単位：億円



JT親愛貯蓄銀行 JT貯蓄銀行 JTキャピタル3社合計

※数値は現地通貨に6月末レートを乗じ表示

※残高は現地会計基準

2. セグメント別業績

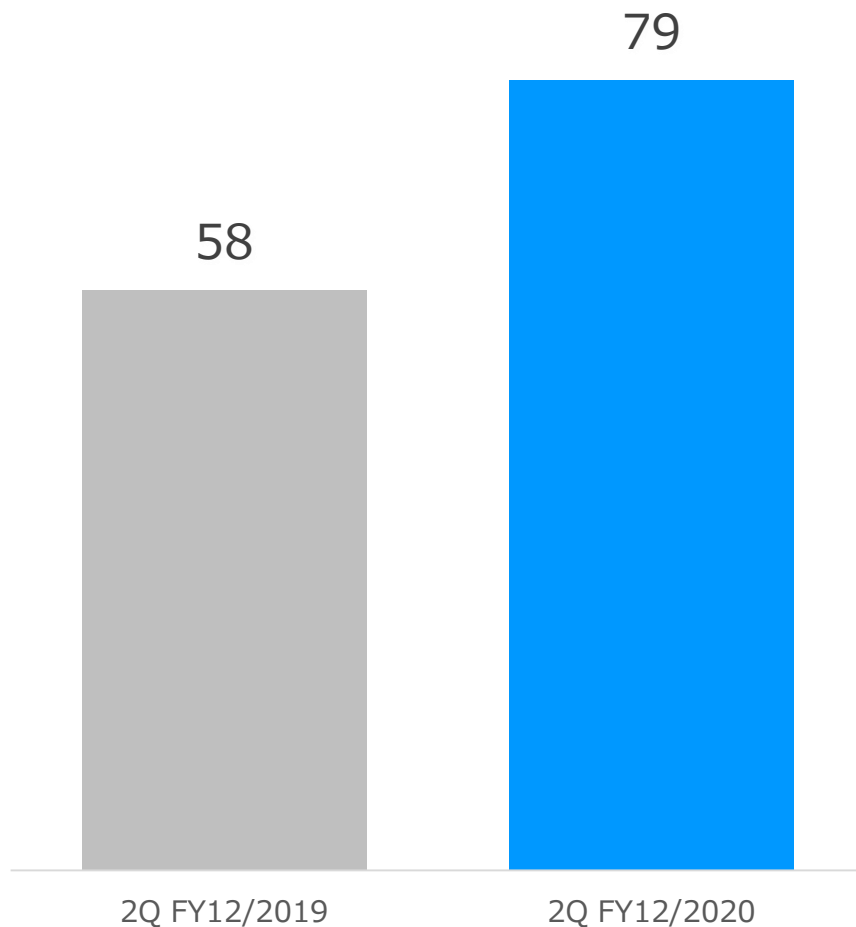
2－3. 東南アジア金融事業

以下のページでは、社名を省略して記載しています。

- ・ Jトラスト銀行インドネシア（B J I）
- ・ Jトラストオリンピンドマルチファイナンス（J T O）
- ・ Jトラストインベストメンツインドネシア（J T I I）
- ・ Jトラストロイヤル銀行（J T R B）

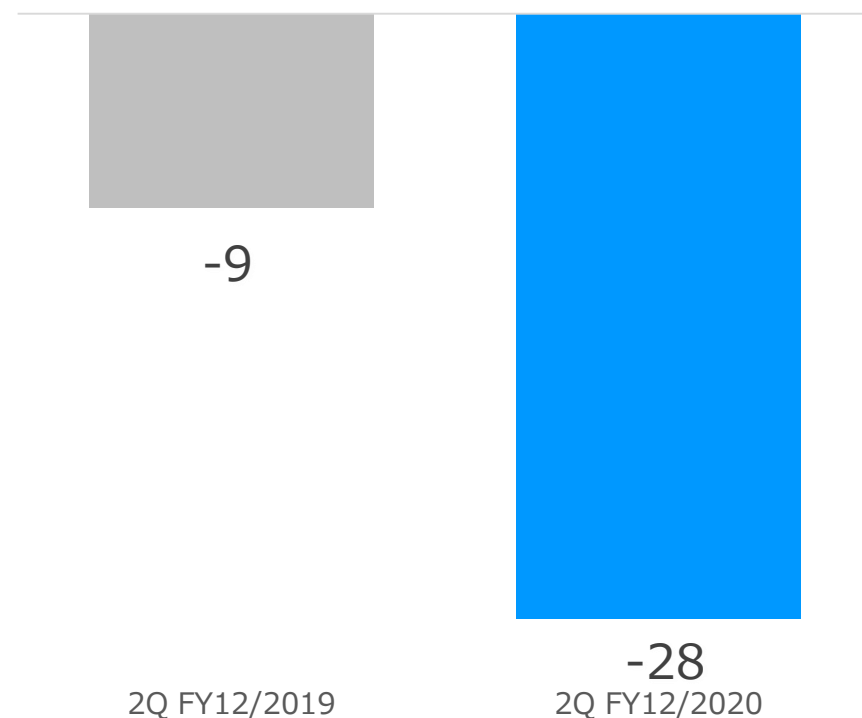
➤ 収益はJTRBのグループインに伴い増収

営業収益



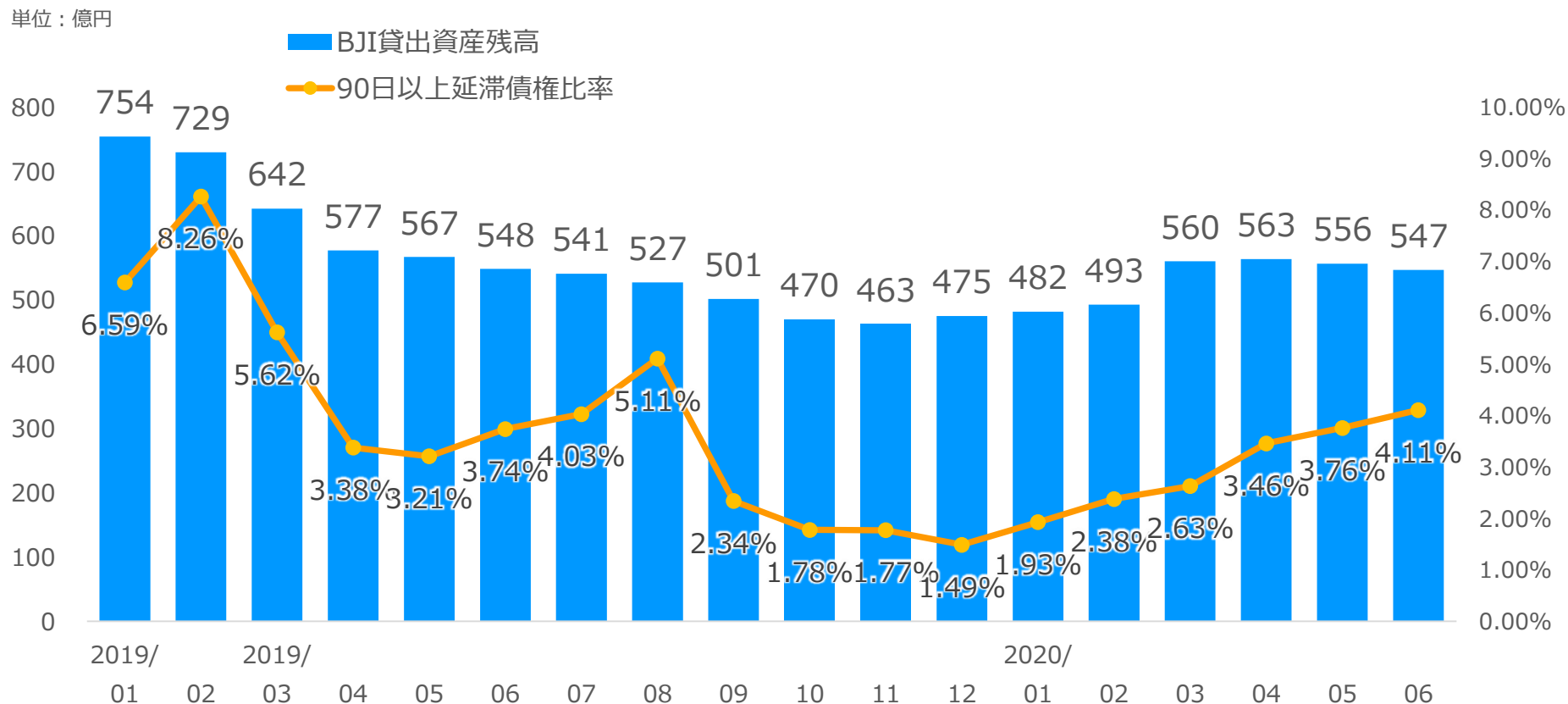
営業利益

単位：億円



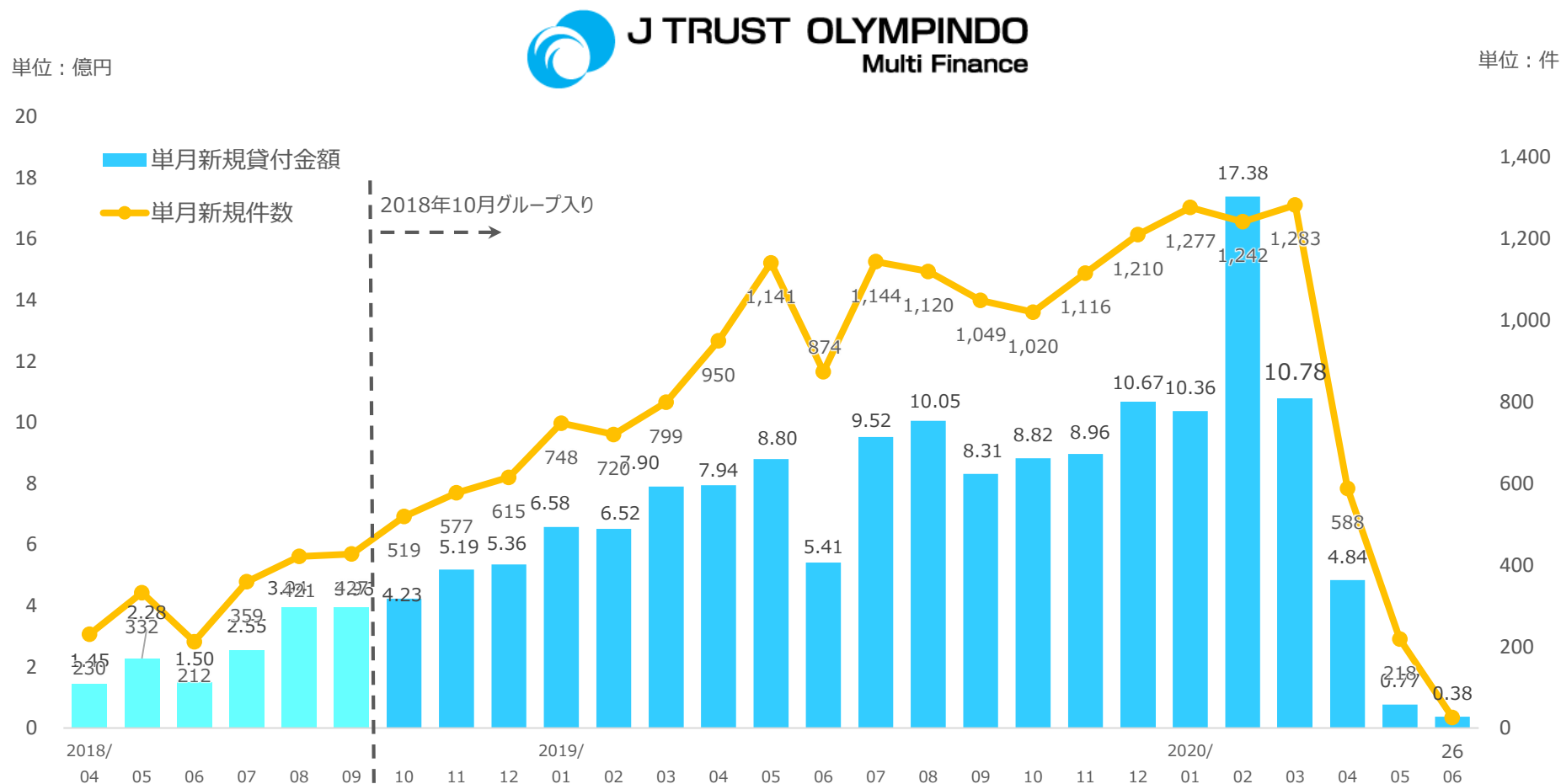
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で増加させていた残高は感染拡大の影響を注視し、一時的に抑制中

B J I の貸出資産残高（棒グラフ）と90日以上延滞債権率の推移（折れ線グラフ）



※数値は現地通貨に6月末レートを乗じて表示

J T O新規貸付件数（右軸）及び金額（左軸）の推移

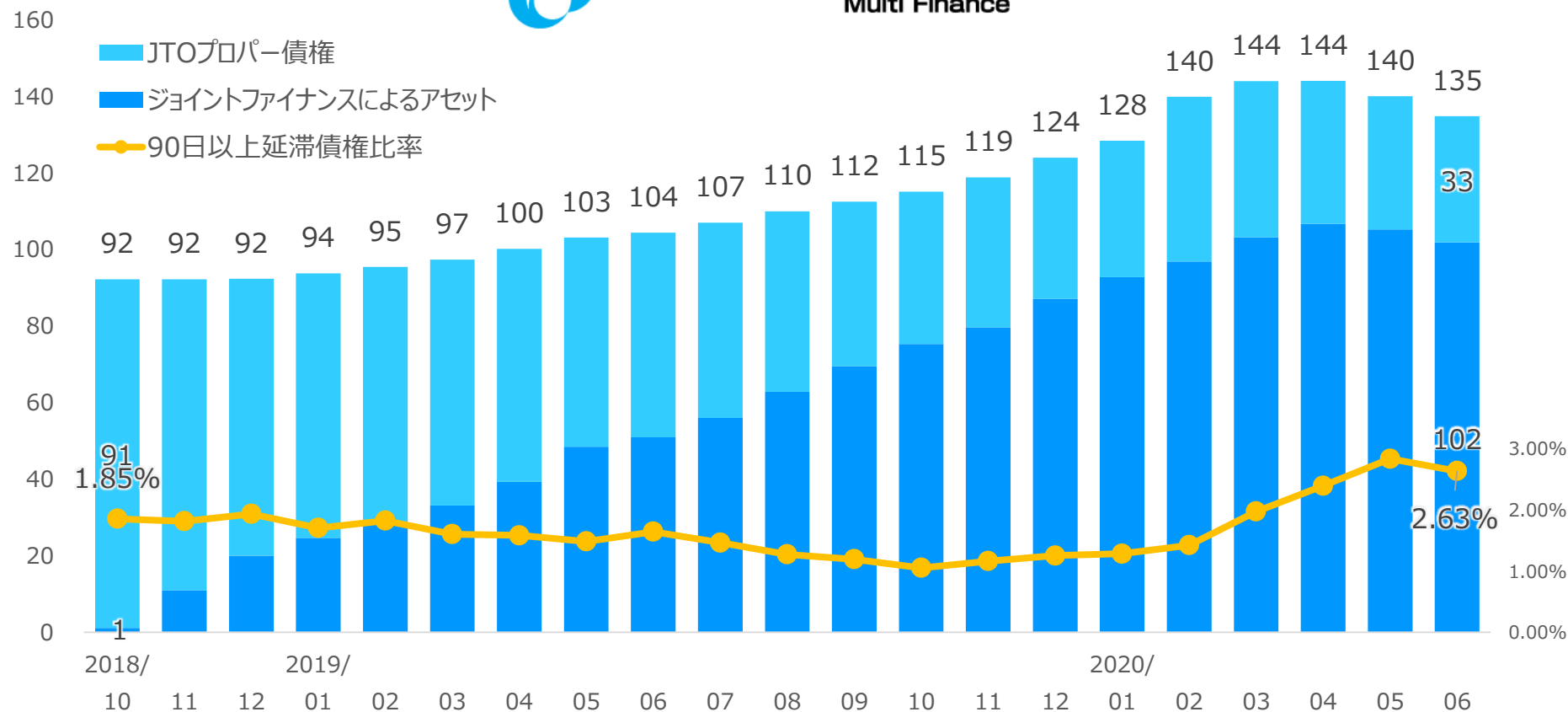


※数値は現地通貨に6月末レートを乗じて表示

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う、政府政策による債務再編申請により、当四半期はNPL比率が上昇。

J T Oのアセット推移 (棒グラフ) と
90日以上延滞債権率 (折れ線グラフ) の推移

単位：億円



※数値は現地通貨に6月末レートを乗じて表示

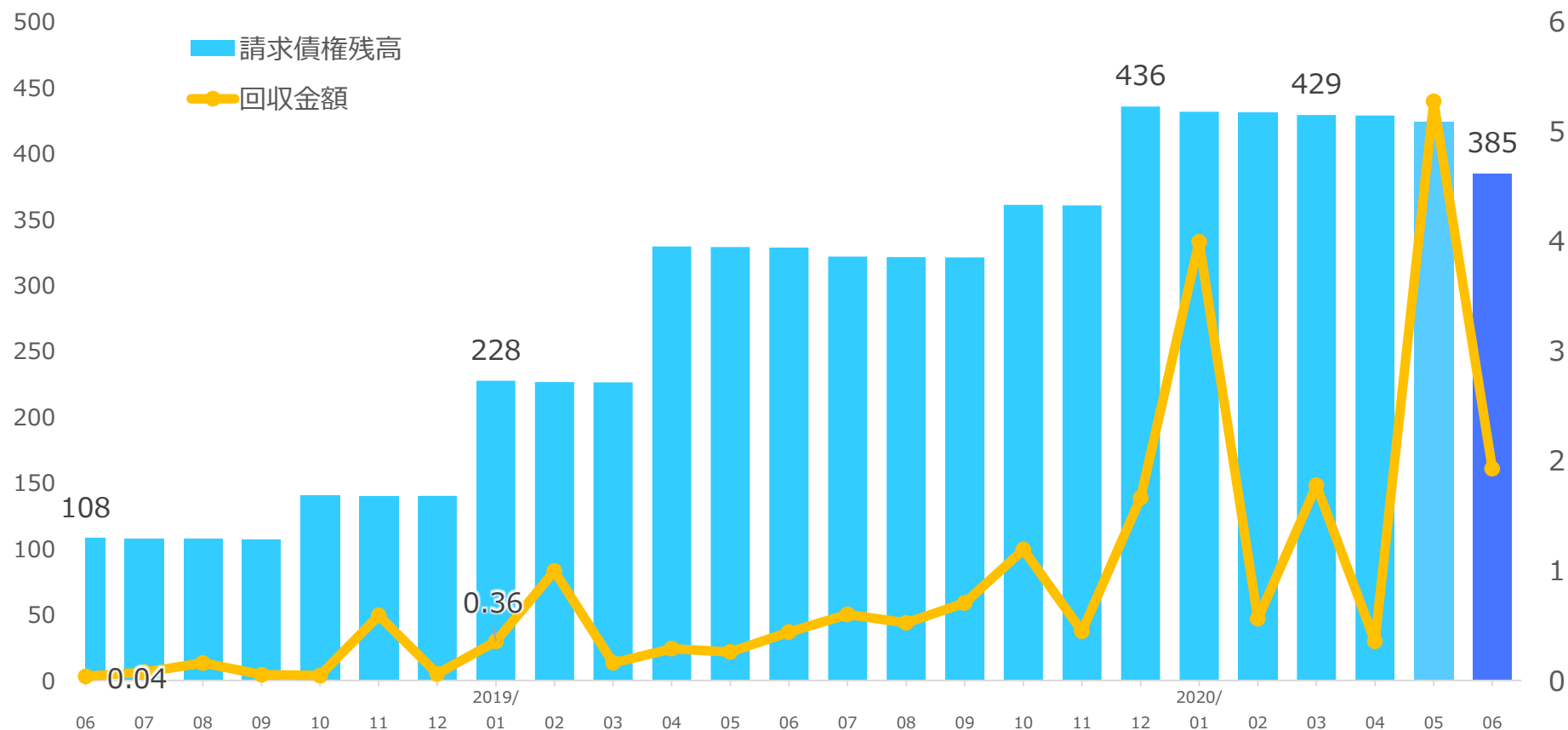
- 買取債権の積極的な回収を進める
- 4月～6月のロックダウン中も法的手続きの強化により回収金額は堅調に推移

JTIIの請求債権残高（棒グラフ：左軸）と回収金額実績（折れ線グラフ：右軸）

単位：億円



単位：億円



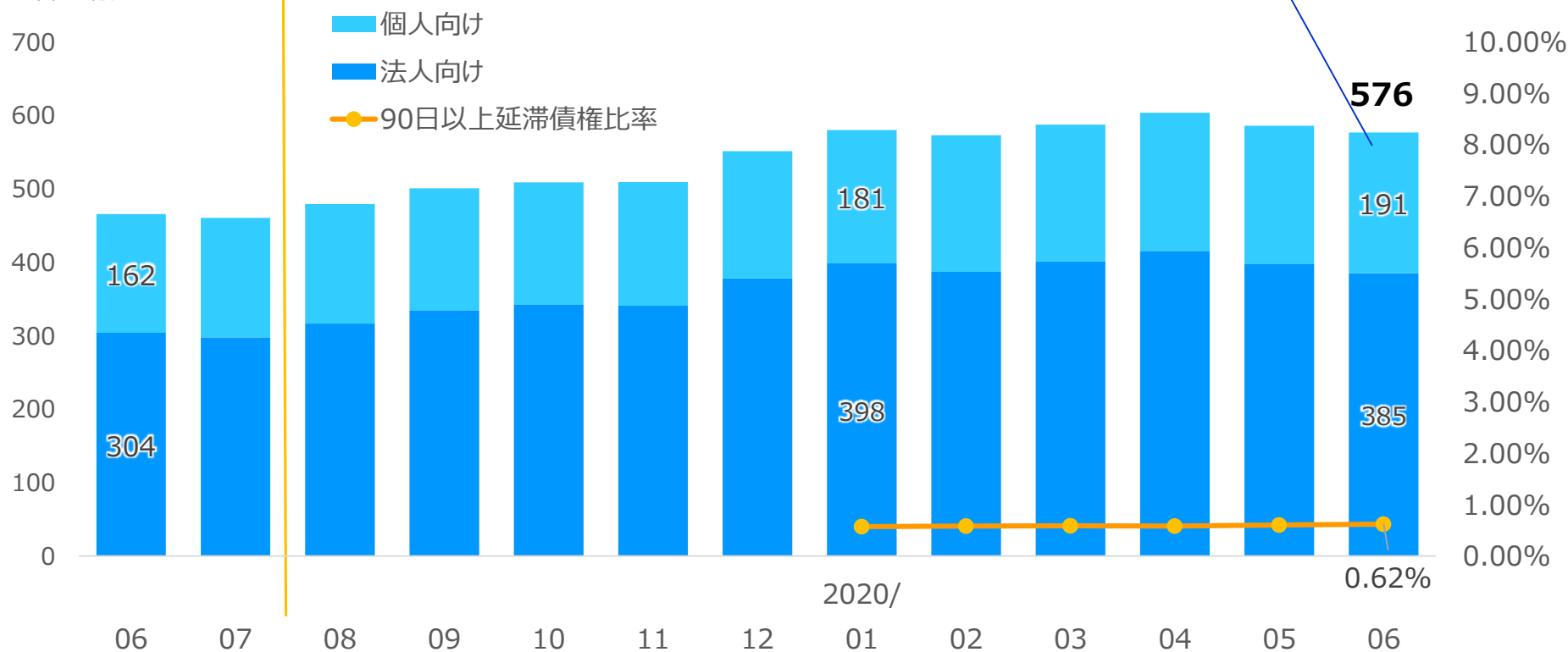
※数値は現地通貨に6月末レートを乗じて表示

- カンボジア国内でもコロナウイルス感染拡大もあり、影響を慎重に見極めるため新規貸付を抑制中。

JTRBの貸出残高推移



単位：億円



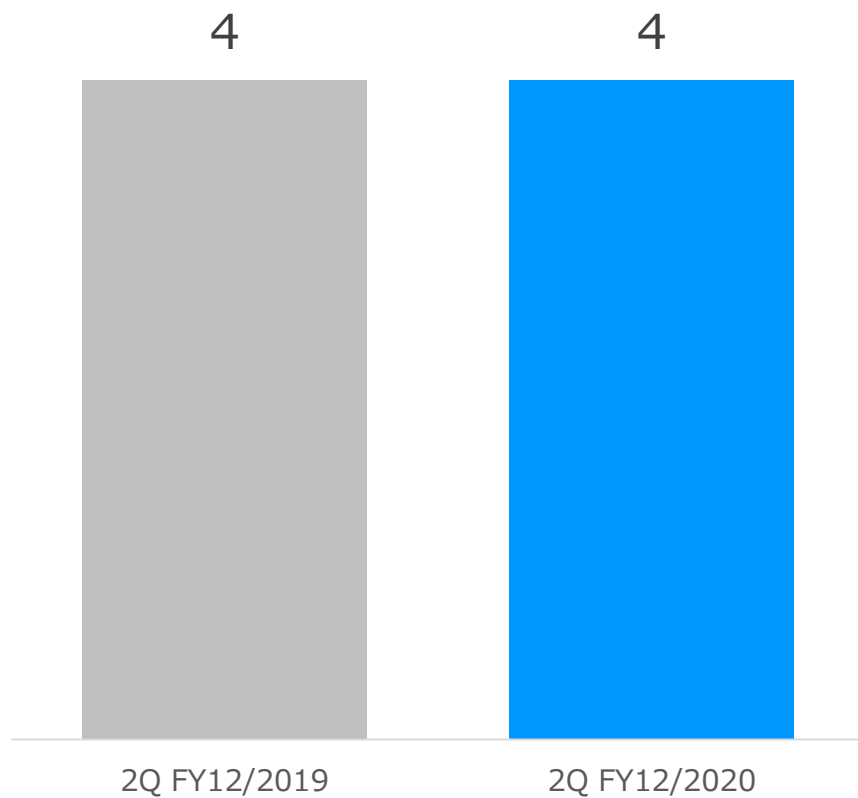
※数値は現地通貨（USドル）に6月末レートを乗じて表示

2. セグメント別業績

2－4. 投資事業

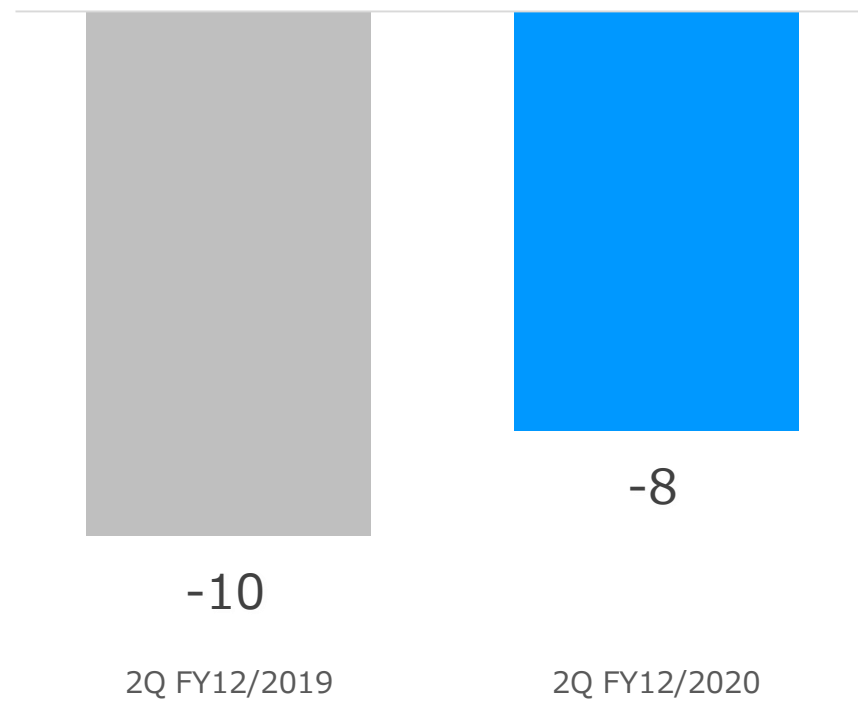
- 訴訟費用の減少により、前年同期比で赤字縮小

営業収益



営業利益

単位：億円



2. セグメント別業績

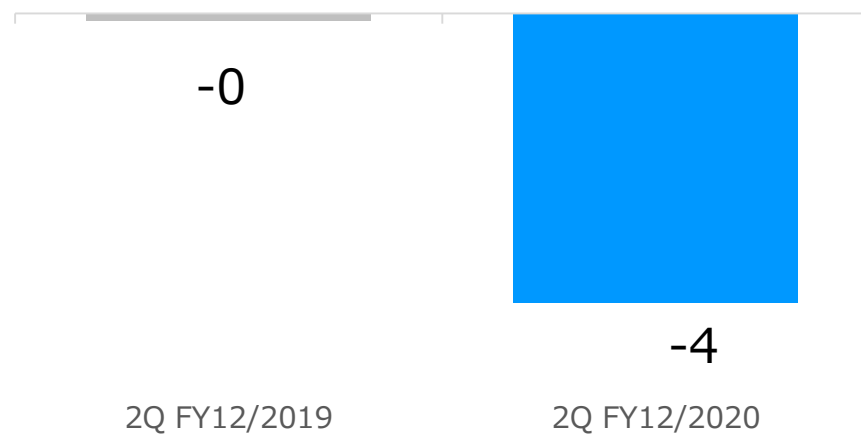
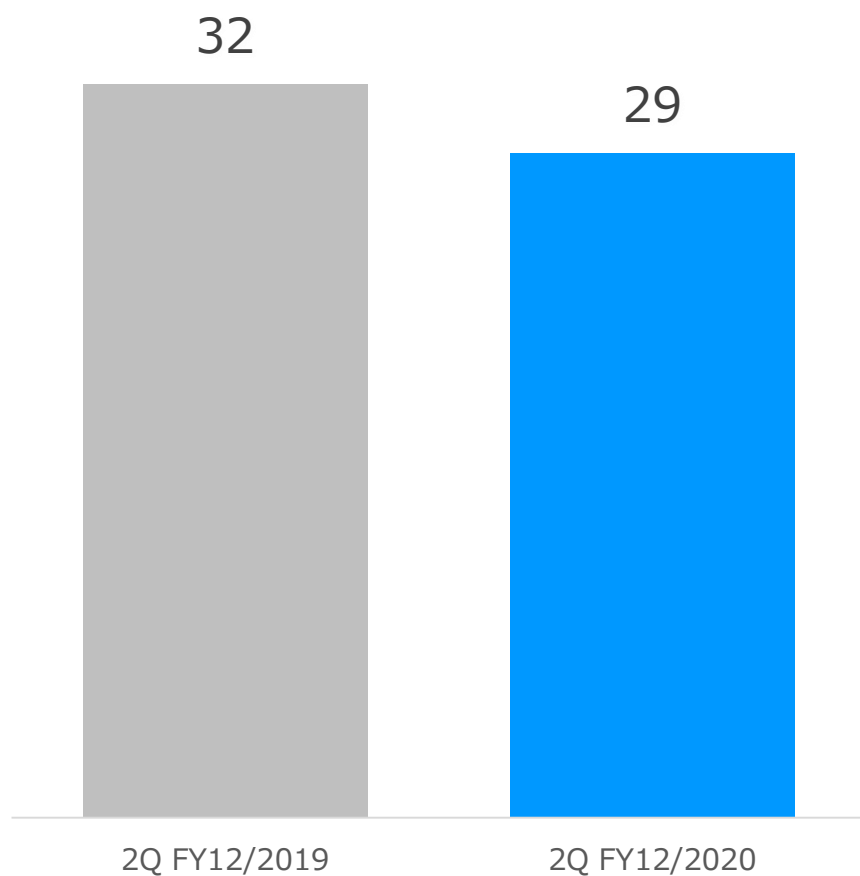
2－5. 総合エンターテインメント/不動産事業

➤ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、減収減益

営業収益

営業利益

単位：億円



➤ 不動産事業の譲渡について

✓ 不動産事業を外部に譲渡することを決定

- ①エンターテインメントに関する事業を事業ポートフォリオの主体としつつある、KeyHolderグループの中で不動産事業の成長性について検討
- ②今後の経営資源の効率配分を考慮した場合、譲渡も選択肢の一つ
- ③キーノートの保有する首都圏、近畿圏の事業エリアや資産は他社から見ても魅力的



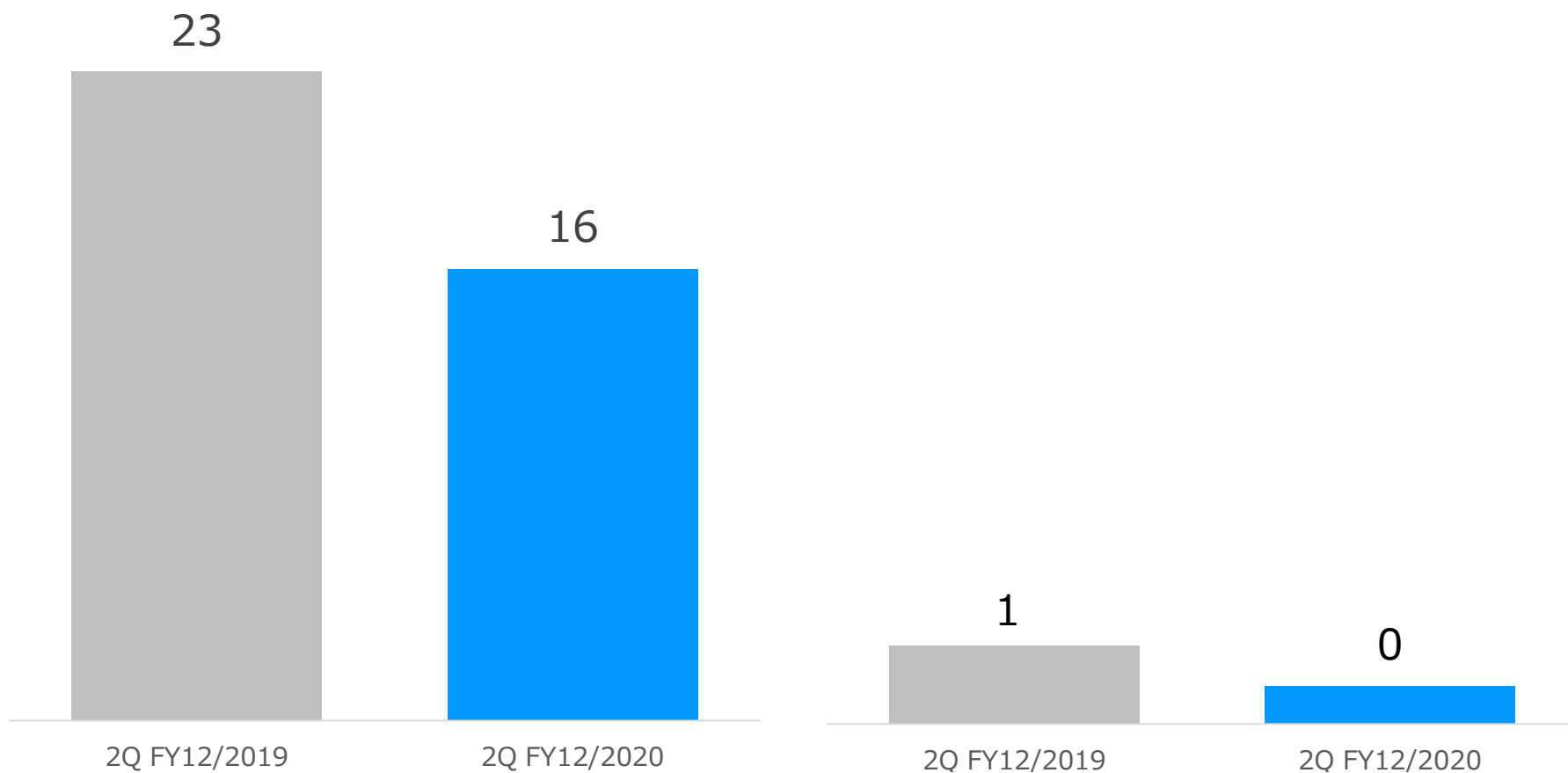
**不動産事業をシナジーを発揮できる外部に譲渡することが
当社グループおよびキーノートにとっても最良と判断**

- 戸建て販売・引き渡しの減少に伴い減収減益（非継続事業に分類）

営業収益

営業利益

単位：億円



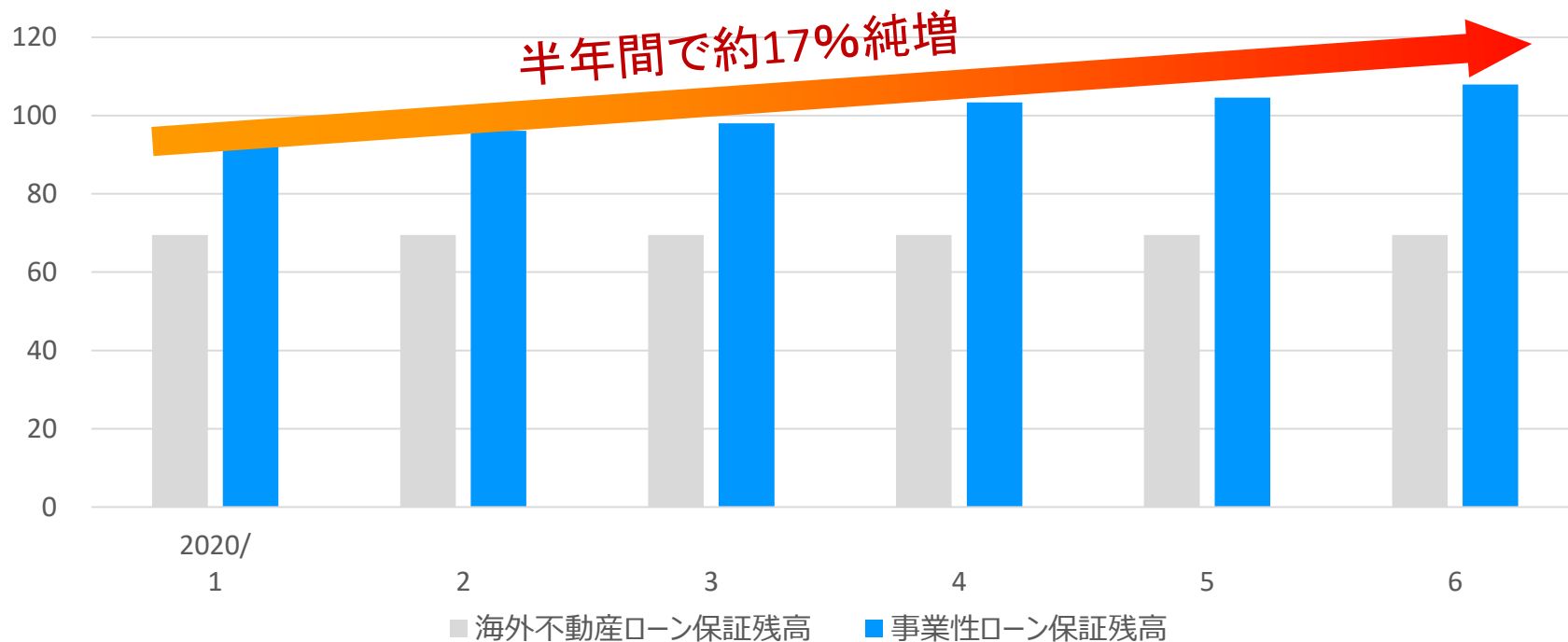
3. 新型コロナウイルス感染拡大による業績への影響

➤ 保証残高の商品別増減に変化が発生

- ✓ 国内金融事業においては海外不動産担保ローンの新規実行が減少
- ✓ 一方、コロナ禍の資金需要で、法人向け不動産担保ローンの残高が伸長

日本保証における「中小企業応援ローン」残高推移

単位：億円



➤ 大型の貸倒発生もなく、堅実なポートフォリオ管理が奏功

✓ 韓国金融事業においては、景気動向により浮沈し易い業種のポートフォリオを意識的に抑制、また債権の小口分散を図った結果、影響は最小限に

韓国の貯蓄銀行2社における業種別残高

業種	貸付残高（億円）	比率
個人	1,516	53.69%
建設業	197	7.00%
金融ならびに保険業	280	9.93%
卸売、小売	57	2.02%
不動産、賃貸業	410	14.52%
事業施設管理と事業支援サービス	14	0.52%
宿泊、飲食店業	20	0.73%
芸術、スポーツ、余暇関連サービス	13	0.46%
運送業	52	1.85%
製造業	215	7.62%
協会ならびに団体修理、その他個人サービス	14	0.51%
その他	32	1.15%
合計	2,823	100%

いわゆる
「コロナ影響業種」
への貸し出しは全
体の**3%**程度

※数値は現地通貨に6月末レートを乗じて表示

➤ インドネシアのコロナウイルス感染拡大状況について

✓ インドネシアではコロナウイルス感染が引き続き拡大中

インドネシア国内のコロナウイルス感染状況 ※7/30現在

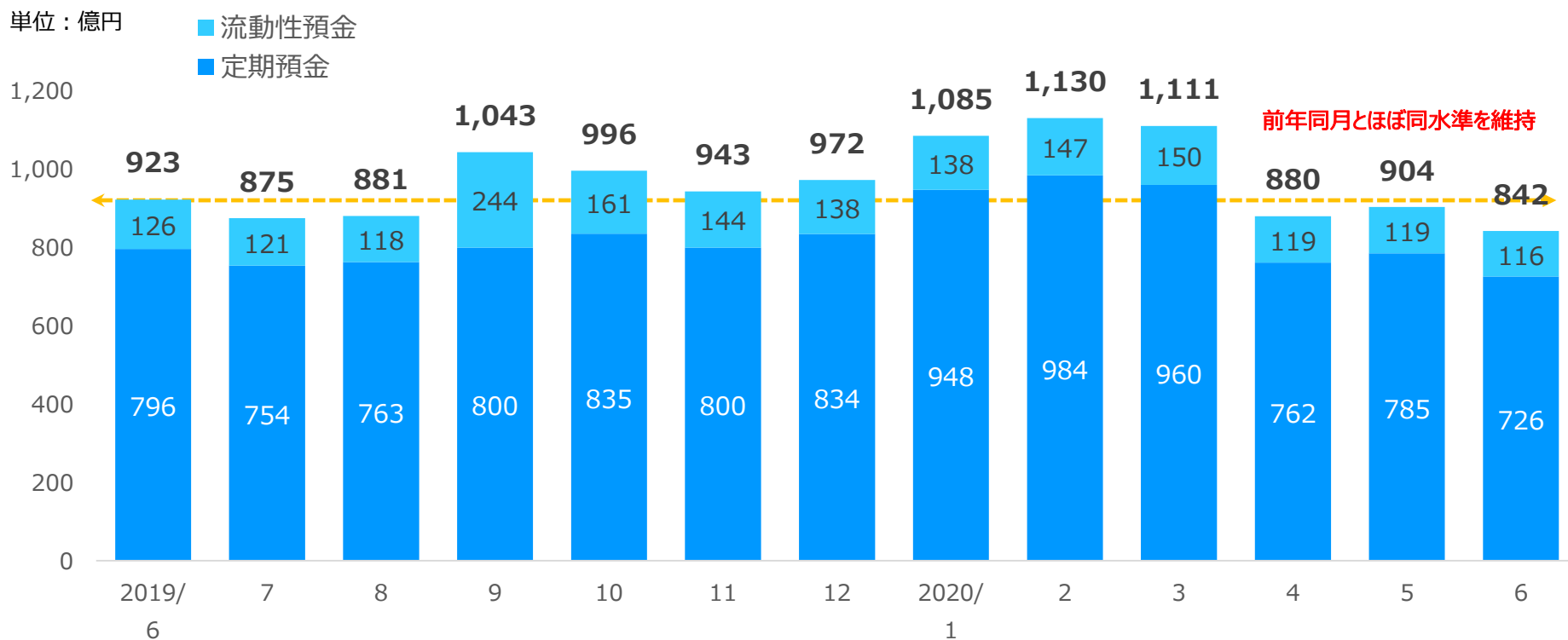
出典：7/30 NNAインドネシア版

累計感染者数	現在治療中	死亡者数
104,432人	37,319人	4,975人

- ✓ 東南アジアの国の中では最多の感染者数を記録。
- ✓ ジャカルタ首都圏では大規模な行動制限（PSBB）が発令中。
- ✓ 6月まではオフィスや工場等について原則閉鎖が求められていたが、6月以降順次再開。
- ✓ ただし、学校や市場など感染リスクが高い施設については引き続き閉鎖がなされている。

➤ 顧客の支払資金ニーズに伴い預金残高減少も、積極的な営業展開で残高を維持。

- ✓ コロナウイルス感染拡大に伴う顧客の支払資金ニーズに伴い、インドネシアの各銀行では預金の流出が相次いだ。
- ✓ BJIでは積極的な営業により、預金残高の大きな減少は発生せず。



➤ 業績予想について

- ✓ 1Qと比較し、特に東南アジア（インドネシア）においては、大規模な社会活動制限に伴い営業活動が停滞。
- ✓ 一方韓国では、想定より早い感染拡大終息に伴い、大きな業績リスクは顕在化せず。
- ✓ 日本金融事業においても、保証商品の多角化や債権回収事業の好調により、収益面での影響は顕在化せず。



**引き続き各事業のモニタリングを行い
必要に応じて業績予想の見直しを行う**

4. 今後のビジョンについて

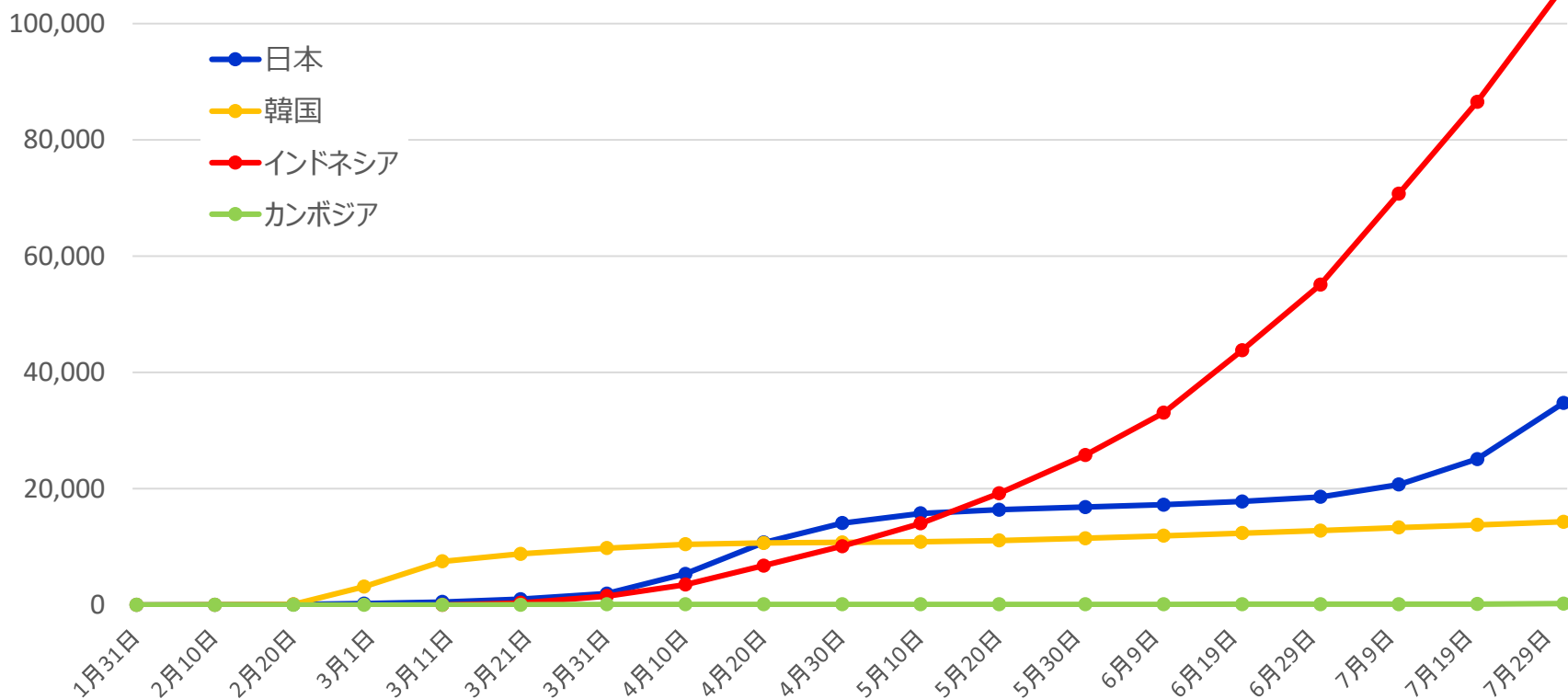
Jトラスト株式会社 代表取締役社長

江口 譲二

- ✓ インドネシアにおいて感染者が急増中
- ✓ 小康状態であった日本においても「第2波」が到来

各国の新型コロナウイルス感染者（累計） ※出典：WHOホームページより

単位：人



日本金融事業

保証商品の拡充、債権買取の強化で、トップライン積み上げを推進

韓国及びモンゴル金融事業

**引き続き現在のビジネスモデルを維持、引き続き
連結業績を支える基幹事業に。**

東南アジア金融事業

コロナウイルス感染拡大の影響を注視

日本金融事業（保証商品の拡充）

- ✓ 寄付型クラウドファンディング大手の「CAMPFIRE」と新たに融資型クラウドファンディングにおいて保証業務提携を実施
- ✓ 第1弾として「世田谷区土地活用ファンド」を7月に発売、全枠完売。
- ✓ 今後も「CAMPFIRE」のブランド力を活用し、魅力的な新ファンドの開発を推進。



日本保証の債務保証付のため、
「安心、安全」な投資対象として人気を博した

日本金融事業（債権買取の強化）

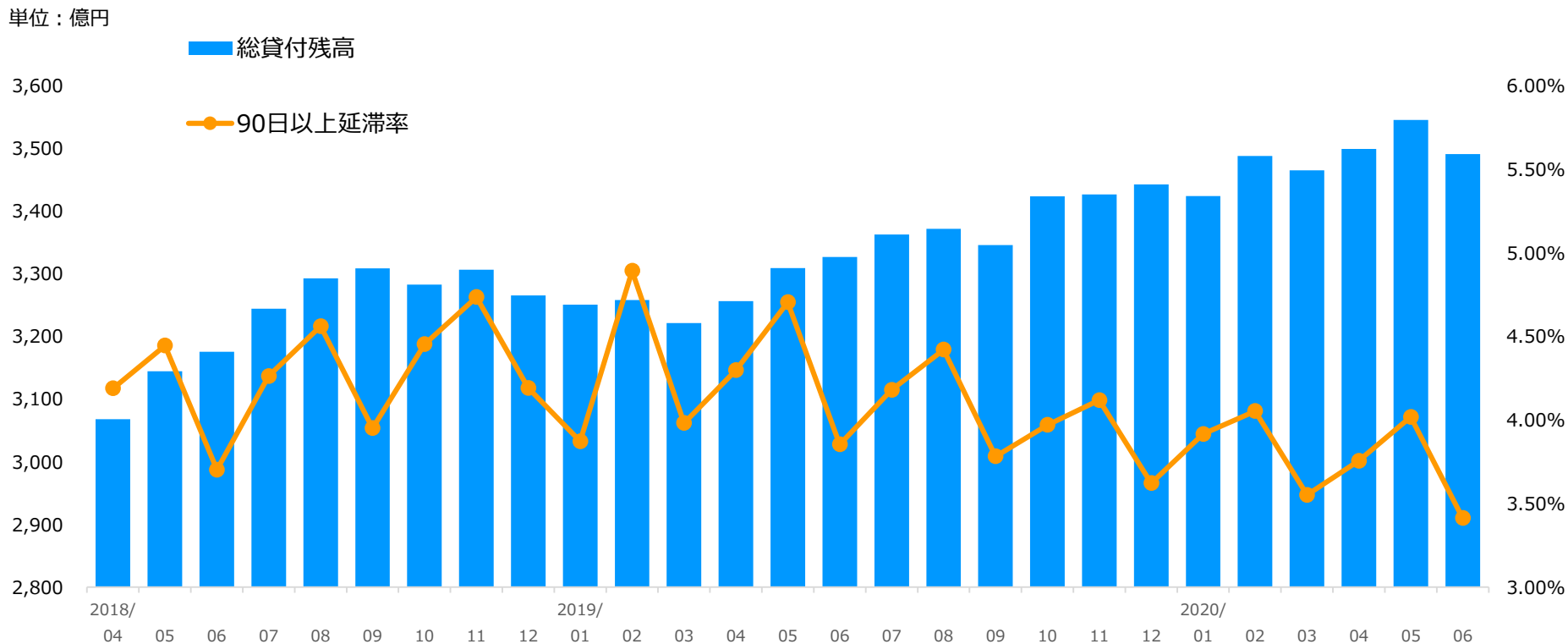
- ✓ パルティール債権回収は今後も信販系大手カード会社等からの買取を推進
- ✓ 当期も金融機関とのネットワークを活かし順調な買取実績で推移

2020年の買取実績一例

買取先	債権残高	買取時期
大手カード会社系債権回収会社	431百万円	2月
大手債権回収会社	2,785百万円	2月
大手銀行系カード会社	987百万円	3月
IT系カード会社	2,390百万円	3月
IT系カード会社	1,866百万円	4月
外資系金融機関	111百万円	4月

- ✓ 良質なアセットを長期的に構築
- ✓ 平均金利は低下傾向も、90日以上延滞比率についても長期的に逡減

韓国金融事業3社の貸付残高、90日以上延滞率の推移



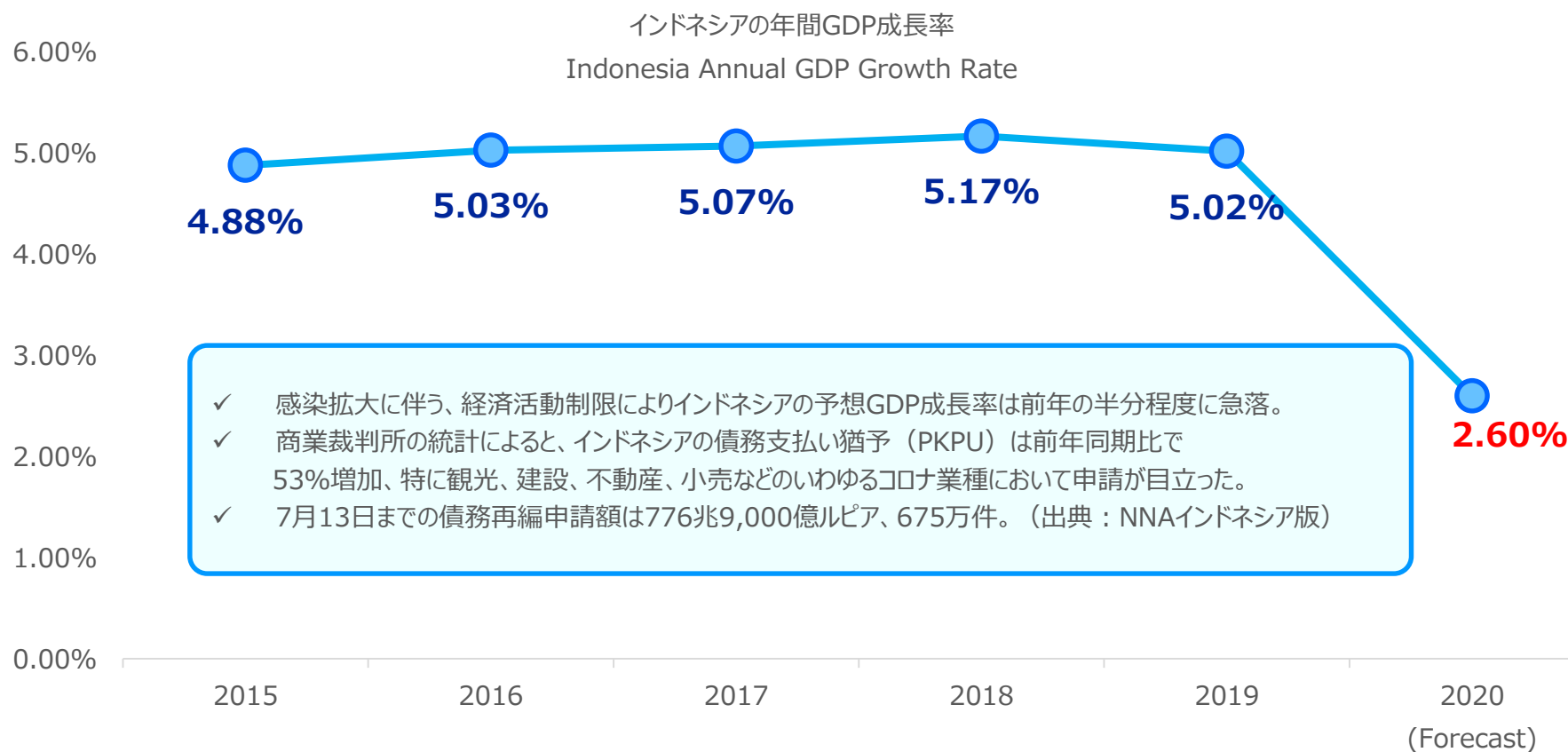
※数値は現地通貨に6月末レートを乗じて表示

**JT親愛貯蓄銀行が当社グループ入り後初の配当を実施。
（182億ウォン：円換算で約16億円）**



2010年に未来貯蓄銀行を買収、当社グループ入り後経営を再建していた、JT親愛貯蓄銀行が初となる配当を実施。経営不振状態からの再生を象徴する出来事となった。

✓ 2020年のインドネシアの予想GDP成長率は2.6%に急落



JTOにおいて小規模事業者向けのファイナンスサービスを2支店（ジャカルタ南支店、デポック支店）で試験的に開始 今後も拡大を検討中



JTO FINANCE

YUK USAHA LAGI! MANFAATKAN PAKET ENERJIK DARI JTO

Ajukan segera pembiayaan untuk UMKM Anda!

SOLUSI TERBAIK PEMBIAYAAN USAHA MIKRO KECIL MENENGAH

Informasi Lebih lanjut hubungi:

J TRUST GROUP

PT JTrust Orygindo Multi Finance terdaftar dan diawasi oleh OJK

Kami siap membantu mewujudkan kebutuhan sektor UMKM Anda! Syarat Mudah, Proses Cepat & Mudah Bayar Angsuran

JTO Finance menyediakan fasilitas pembiayaan di sektor UMKM (Usaha Mikro Kecil Menengah) dalam kegiatan operasionalnya seperti para pengrajin gerabah, pedagang pangan (sayur, daging dll), kios pulsa, usaha franchise dll.

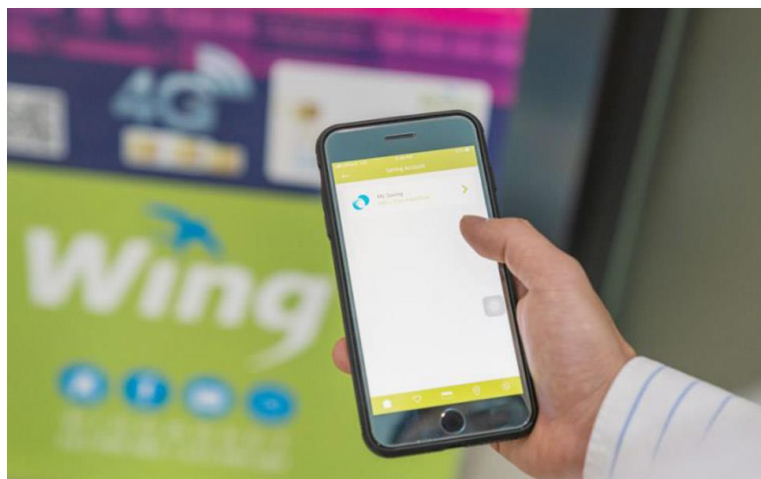
Dalam perekonomian Indonesia, Usaha Mikro Kecil Menengah (UMKM) adalah kelompok usaha yang memiliki jumlah paling besar. Maka sudah menjadi keharusan bagi JTO Finance untuk melakukan penguatan kelompok UMKM yang melibatkan banyak kelompok.

www.jto.co.id @jtofinancedigital @jtofinance

インドネシアの市場（いちば）において営業を行う中小商店を対象にした事業者向けローン、アプリを利用した申込プロセスで申込フローを簡潔化し、融資までスピーディーな実行を実現。

- 商品名：Micro Energy Packing
- 限度額：1百万ルピア～25百万 ルピア（約7万円～17万5千円程度）
- 年率：45%～60%
- 融資期間：最長1年
- 早期返済手数料：元本の2%

Jトラストロイヤル銀行とWing社（カンボジアの大手資金移動業者）が連携



JTRBとカンボジアの大手資金移動業者である、Wing社が連携を強化。

Wing社はWing社のスマホのアプリの簡単な操作によりカンボジアで銀行預金口座を保有していないWingの利用者にも預金金利のメリットが取れるマイクロ普通預金の提供を開始した。

金融インフラが十分に行き渡っていないカンボジアにおいて、金融サービスの裾野拡大に貢献している。

コロナ禍により、経済環境が急変、事業ポートフォリオの最適化を検討中

年初より継続している「コロナ禍」により、日本国内のみならず
世界全体で経済環境が急変



「ウィズコロナ」に即したビジネス習慣等の変更等が発生

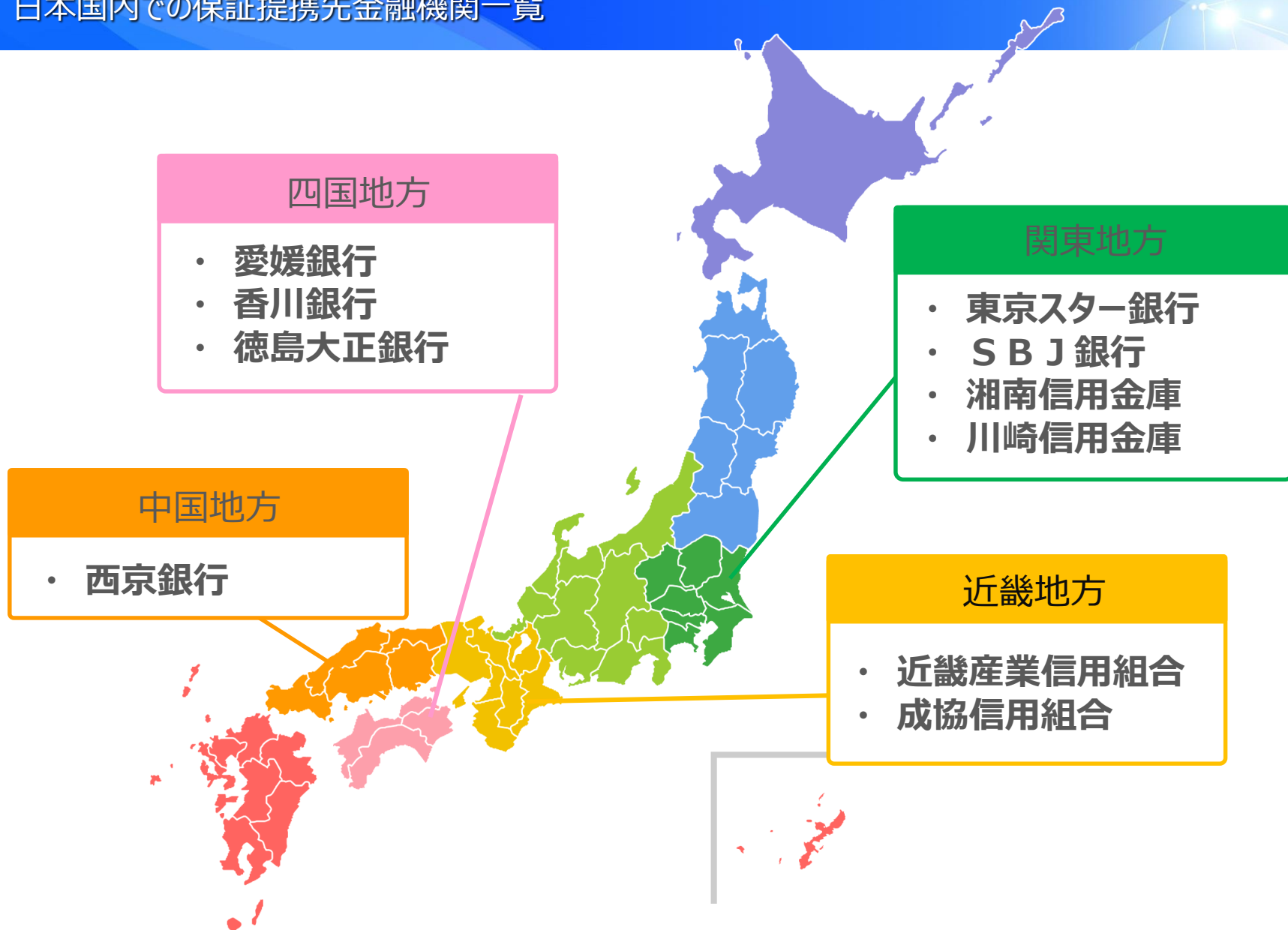


各国の情勢、事業構造、収益性などを総合的に判断、
事業ポートフォリオの最適化を検討していく

5. データ集

※資料集のページでは、金額を現地通貨建てで表示しております。

➤ 日本国内での保証提携先金融機関一覧



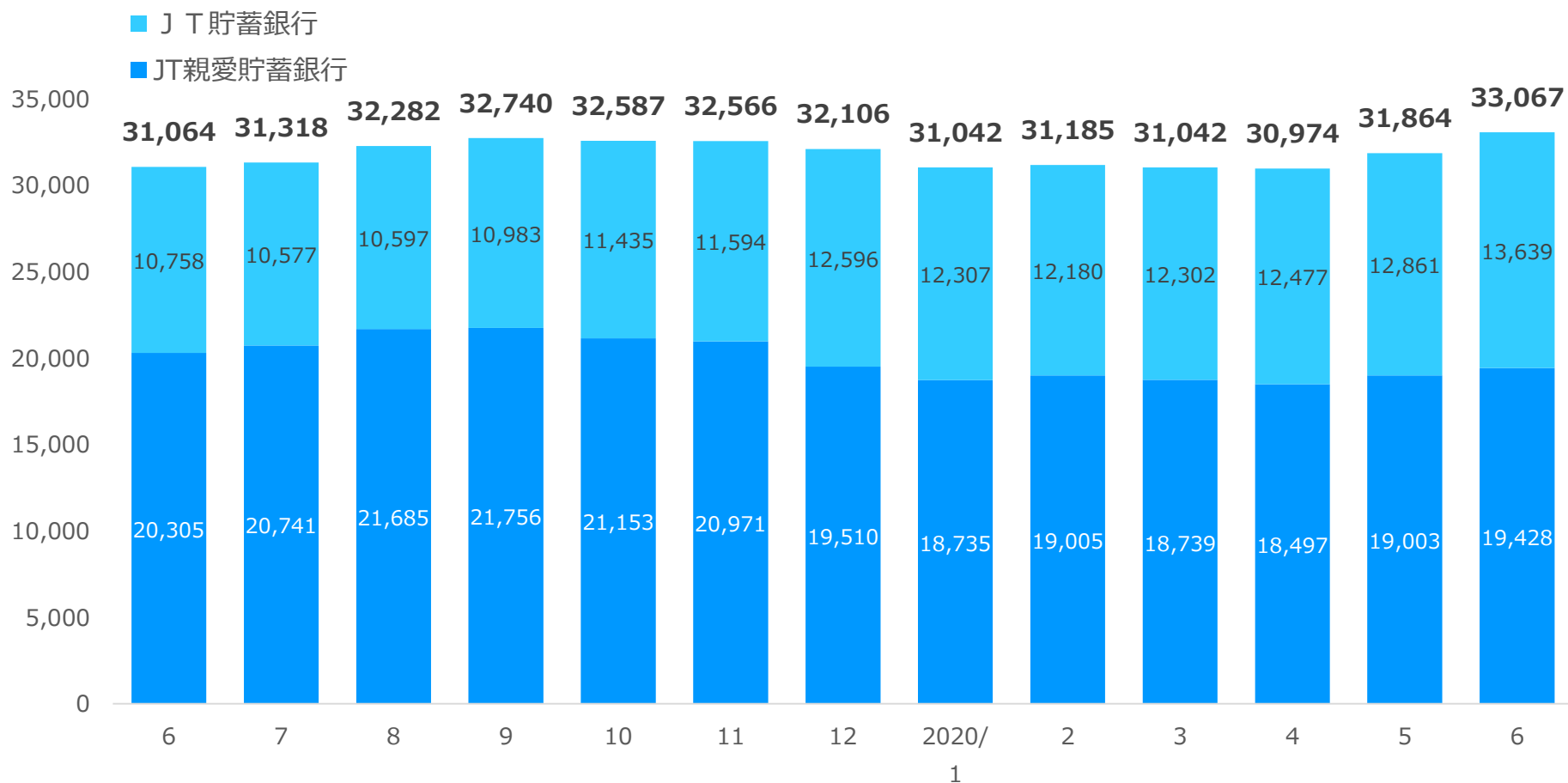
➤ J Tグループ貯蓄銀行 業界ポジション（総資産比較） ※2020年3月時点

順位	名称	総資産額（億ウォン）
1	SBI貯蓄銀行	93,246
2	OK貯蓄銀行	73,062
(参考)	JT親愛貯蓄銀行 + J T貯蓄銀行（J Tグループ合算）	35,309
3	韓国投資貯蓄銀行	35,036
4	ペッパー貯蓄銀行	34,548
5	ウェルカム貯蓄銀行	32,356
6	ユジン貯蓄銀行	27,045
7	エキュオン貯蓄銀行	26,324
8	JT親愛貯蓄銀行	21,412
9	モア貯蓄銀行	19,977
10	OSB貯蓄銀行	19,895
11	サンサンイン(旧：ゴンピョン)	16,809
-	(中略)	
15	JT貯蓄銀行	13,897
16	KB貯蓄銀行	13,776
-	(以下63行)	

➤ 韓国貯蓄銀行 預金残高の推移

韓国貯蓄銀行2社 預金残高推移

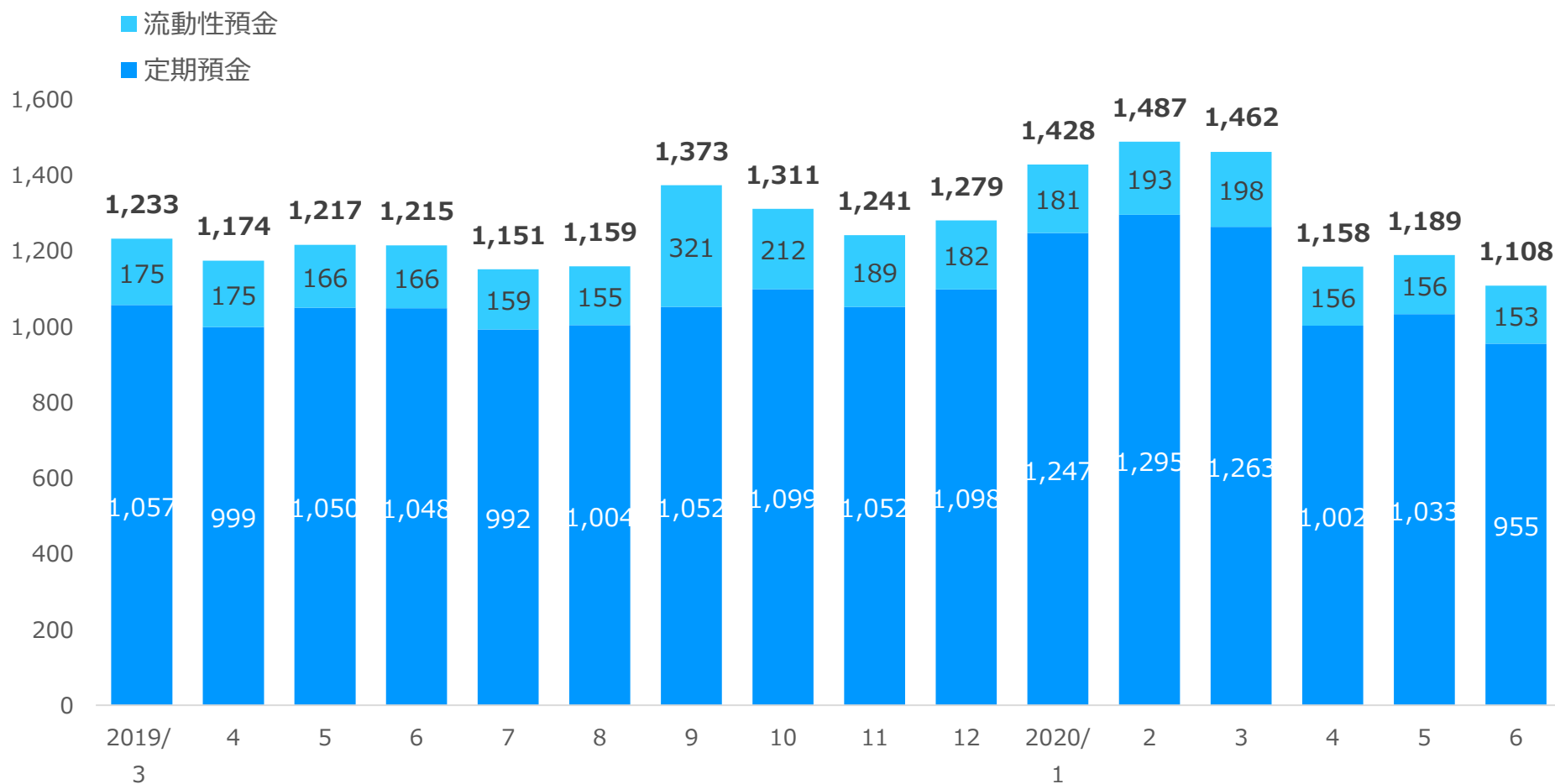
単位：億ウォン



➤ B J I 預金残高の推移

B J I 預金残高推移

単位：百億ルピア



➤ J T R B 預金残高の推移

J T R B 預金残高推移

単位：百万USD

